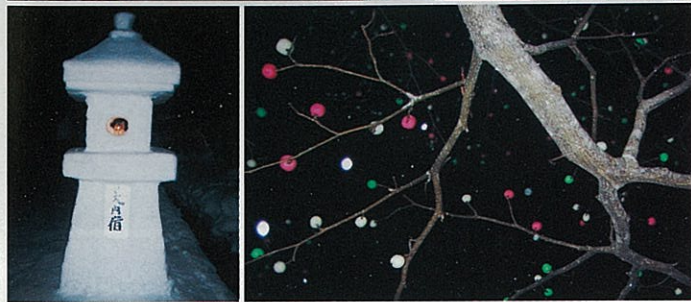




南会津 のうりんニュース



今月の写真:「大内宿雪まつり」

今年も、2月11・12日に大内宿において、「大内宿雪まつり」が開催されました。

下帯姿の若い衆が松明を手に走る「御神火載火」と「日本一の団子さし」、「雪灯籠」を写真に収めてみました。

小雪の降る中、大勢の観光客が、江戸時代の宿場町の面影を残る大内宿の“もてなし”を満喫していました。

今月の内容:

●今月のトピックス

- ・室井さん、優秀賞受賞！！
- ・平成17年度南会津地方森林セラピー講演会を開催！
- ・食農指導力向上塾in会津・南会津を開催！
- ・地元産大豆100%の豆腐、厚揚げ、ゆばを試食！

●特集！

平成19年度からの新たな経営所得安定対策について

●今月のコラム

平成18年3月13日発行 福島県南会津農林事務所



(左) 意見発表を行う室井崇さん
(右) 左から渡邊所長、室井さん、星農業普及部長

室井さん、優秀賞受賞!!

平成17年度福島県農村青年会議が、郡山市にある清稜山倶楽部において、2月7日から2日間にわたって開催されました。

福島県農村青年会議では、県内各地域の若手農業者で組織される各農業青年クラブの代表が、プロジェクト発表部と意見発表部に分かれ、発表会を行いました。

南会津農業青年クラブからは、意見発表の部で、就農2年目の花生産者の室井崇さん(田島町)が参加しました。意見発表では、1年目の失敗談や農業経営の考え方を学んだアメリカでの農業実習体験、また、花の産地を作りたいという将来の構想について、自分の言葉で表現していました。

今回の意見発表では、第2席となる優秀賞(県連会長賞)を受賞しました。惜しくも、最優秀賞を逃しましたが、今回の受賞を契機に若手農業者のリーダーとして益々、ご活躍されることを祈念いたします。

(農業普及部)

平成17年度南会津地方 森林セラピー講演会を開催!

森林や温泉など自然資源を活用した“癒しの里づくり”に向けて、地域が一体となって取り組んでいこうとする気運を高めるため、去る3月1日に、平成17年度南会津地方森林セラピー講演会を開催しました。

当日は、森林組合、福島県もりの案内人、観光協会、民宿組合、NPO法人、関係団体など約60名が参加しました。

講演会では、森林セラピーの先進地である長野県信濃町で森林メディカルトレーナーとして活動されている高力一



講師の高力氏

ひろ 浩氏を講師に、「自然資源を活用しみんなで元気な地域づくりを始めよう」～長野県信濃町における森林
(2ページに続く)

(1ページから続く)

セラピーの取り組み事例を参考として～という演題で基調講演を行ったのち、参加者との意見交換会を行いました。

会場からは「大変勉強になった。もっと民間が頑張らなければならないと気づいた」などの感想もあり、今後自然資源を活用した活動を進めていくうえで大変参考となる講演会となりました。

今回の講演会をきっかけに、南会津地方の豊かな自然資源を活用した取り組みが前進することが望まれます。

(地域農林企画室、森林林業部)

地元産大豆100%の豆腐、厚揚げ、ゆばを試食!

農業・食品産業連携産品開発交流会は2月7日、下郷ふれあいセンターで開催され、下郷町産の大豆「おおすず」や田島町産「ふくいぶき」などを原料に試作された「豆腐」や「厚揚げ」、「ゆば」などの試食や地域特産化に向け講演が行われました。



試作品の試食

この交流会は、地産地消による地域ブランドの商品開発と農産物の生産振興を図るため農林事務所が主催したもので、下郷町内の民宿組合や旅館組合、直売組織などの関係者約50名が参加しました。試作品に対する意見交換では、参加者から

「美味しかった」「良いネーミングを考え販売してほしい」「商品化したら販売したい」などの意見が出され、一部は「大内宿雪まつり」で試験販売されました。

また、凸版印刷株式会社企画販促チームプロデューサー八木正雄氏から「地域産品の販売方法と商品デザインについて」の題で講演を行い、意見交換では商品化に向けたアドバイスを受けるなどしていました。

このような取り組みにより、地域特産品が今後育っていくことを期待します。

(農業普及部)

「食」「農」指導力向上塾 in会津・南会津を開催!!

食やグリーン・ツーリズム体験に関する指導者の能力向上を目的に、去る2月14日に、下郷ふれあいセンターにおいて、『「食」「農」指導力向上塾in会津・南会津』を会津農林事務所と南会津農林事務所との共催により開催しました。

うつくしま「食」「農」サポーターやグリーン・ツーリズムインストラクター等、指導者として活躍されている方々33名が参加しました。



(上) 煮くろみづくり
(下) そば打ち体験

初めにNPO法人あぶくまエヌエスネット代表の進士徹氏を講師に、「教えてみっぺ、教わってみっぺ体験」と題し、郷土料理指導者と体験者とが交流を図りながら指導方法などについて勉強するため、以下のコースに分かれて実際に郷土料理づくり体験を行いました。

	講師	調理名
1班	立川智恵子氏	へそ干し大根の煮物
2班	武田 幹雄氏	こづゆ
3班	佐藤 典子氏	うどのじゅうねん和え、他2品
4班	菅家 紀子氏	煮くろみ
5班	吉村 徳男氏	そば打ち



参加者の交流が図られた意見交換

引き続き、「顧客満足度を上げるための指導方法とは」をテーマに、午前中の郷土料理づくり体験をもとにして、ワークショップ方式で意見交換会を行いました。指導の仕方について

良かったことや改善した方がよいことなど、よりよい指導方法の在り方について参加者からは、積極的な意見が多数ありました。

(地域農林企画室)

平成19年度からの新たな経営所得安定対策について

新たな『食糧・農業・農村基本計画』の重要施策として『**品目横断的経営安定対策**』が平成19年度から導入されます。

これまで、米・麦・大豆の生産者に対して、麦作経営安定資金や大豆交付金といった品目ごとの所得対策がとられていましたが、19年産からは、品目別の価格政策ではなく、一定の要件を満たした認定農業者や集落営農組織に限定し、その経営の安定を図る施策(**品目横断的経営安定対策**)に転換されます。

対象作物は、米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょとしています。それ以外の野菜、果樹、畜産などの部門専門的な営農類型については、引き続き、品目毎の事情や課題に即して、品目別の対策が実施されます。

また、『**米政策改革推進対策**』についても、品目横断的経営安定対策の対象とならない経営規模の農家の皆さんを対象とし実施され、経営規模に応じて『**品目横断的経営安定対策**』か『**米政策改革推進対策**』のいずれかを選択出来ます。

◎品目横断的経営安定対策の概要

○支援の対象

経営規模(水田+畑作)が4ha以上の認定農業者又は20ha以上の集落営農組織(経理の一元化が必要)が対象です。

○支援の内容

<ゲタ対策>

諸外国との生産条件格差を是正するための補てん

大豆・麦等について、「過去の生産実績」に基づく支払いと「毎年の生産量・品質」に基づく支払いの2つが受けられます。

<ナラシ対策>

収入の変動の影響を緩和するための補てん

米・大豆・麦等について、全体の収入に着目し、その年の収入が平均収入を下回った場合に、差額の9割が補てんされます。加入者は拠出が必要です。

◎米政策改革推進対策の概要

○支援の対象

「品目横断的経営安定対策」の対象とならない経営規模の農家の皆さんが対象です。

○支援の内容

- ・現在の「産地づくり対策」が継続されます。
- ・「稲作所得基盤確保対策」を衣替えし、米価が下がった場合に面積当たりの定額補てんを行う仕組みが作られます。

※他に「**農地・水・環境保全向上対策**」が新設されますが、内容については今後、お知らせ致します。

もっと詳しい内容についてお知りになりたい場合は、福島県農林水産部のホームページをご覧ください。

ホームページのアドレス:<http://www.pref.fukushima.jp/norinsuisan/>

(農業振興部)

詩吟と「南山御蔵入の月」



➤ こ田島町に住み着き、単身赴任を始めてから早いもので間もなく1年になろうとしています。我が家はアパートの4階にあるため、遠く二岐山、近くには斉藤山や愛宕山が望めるなど大変眺めが良く、月夜の晩などは月と山の絶妙な風景が楽しめます。狼男ではないにしても何か大きな声で叫びたくなる衝動にかられるのは私だけでしょうか。

大きな声といえば小生、詩吟を始めてから30年近くになります。生来の怠け癖からあまり練習もせず、あまりうまくはありませんが…。ここで偉そうに詩吟に関する蘊蓄を言わせて頂くならば、詩吟とは詩文の作者の感情をくみ取り、この感情の迸りを口ずさむことであり、これをとおして「気」を養うことだと言われている。

「なんじゃこりゃ?」と思われるかも知れません。“しーし!!!”、なかなか難しいと思いきや、さにあらず。漢詩や和歌などの詩文に「吟符」なるものがあり、これに従って声を出していけば、それなりに吟ずることはできます。何回も繰り返すうちに、情景や

作者の感情がわかってきます。また、吟ずるのですから、蚊の鳴くような声では物になりません。とにかく、とにかく大きな声で行うのです。これはストレス解消の極意ではないでしょうか。是非お勧めしたいと思います。

ここで唐代の詩人である李白が作った、私の好きな「静夜詩」という漢詩を紹介します。

しょうぜんげつこう み
床前月光を看る
うたご これちじょう しも
疑うらくは是地上の霜かと
こうべ あさんげつ のぞ
頭を挙げて山月を望み
こうべ た こきょう おも
頭を垂れて故郷を思う

現在、単身赴任中の私にとっては身につまされるような詩ですが、まさに我が家から見える「南山御蔵入」のキーンと冴え渡った月夜の風景そのもののような気がします。

(農村整備部農村整備グループ課長 後藤庸貴)



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/nourin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。